

防災袋の点検に御協力いただき、ありがとうございました。1年に2回(6月・12月)の防災袋点検を今後も継続したいと思います。

自主学習の取組内容を御紹介しますので、今後の防災対策の参考にしてください。

【したこと】

中の物を冬用に変えた。

中身をコンパクトにして運びやすくした。

10年保存ができる水に交換した。

風邪をひいているときの避難に備えてマスクを入れた。

電池が切れていないかを確認した。

新聞紙でスリッパ、ごみ袋などを作って入れた。

不要な物を除き、荷物を軽くして持ち出しやすくした。

【点検後の感想】

袋の中にいっぱい入っていて安心した。

5月に作ったときは「まだ大丈夫。」と思っていたのに、1月に見ると賞味期限がたくさん切れていた。

もし今地震が起きたら寒いので、点検して冬用の服を入れることができよかった。

夏と冬では必要な物が違うので、点検することが大切だと思った。

毎回見直すのがよいと思った。

中学生になっても確認したい。

いろいろ追加したので安心した。

【学習発表タイムでの青少年赤十字活動発表】

学習発表タイムで、青少年赤十字の2年間の取組を発表しました。保護者や地域の人に自分たちの取組を紹介して知ってもらいたいという意見が代表委員会で話し合われ、実現しました。発表したい人を児童会が募り、6年生が台詞の割り振りを考え、32名の子供たちが発表しました。これまで頑張ってきたことを報告することができ、子供たちもうれしかったと思います。寒い中、最後まで熱心に発表を聞いていただいた皆様、ありがとうございました。

